

1. 対象部材
洗面所用昇降柵(扉連動型) 略称：CjK 昇降柵

2. 標準(共通)化の部位
標準(共通)化の部位を図1に示す。

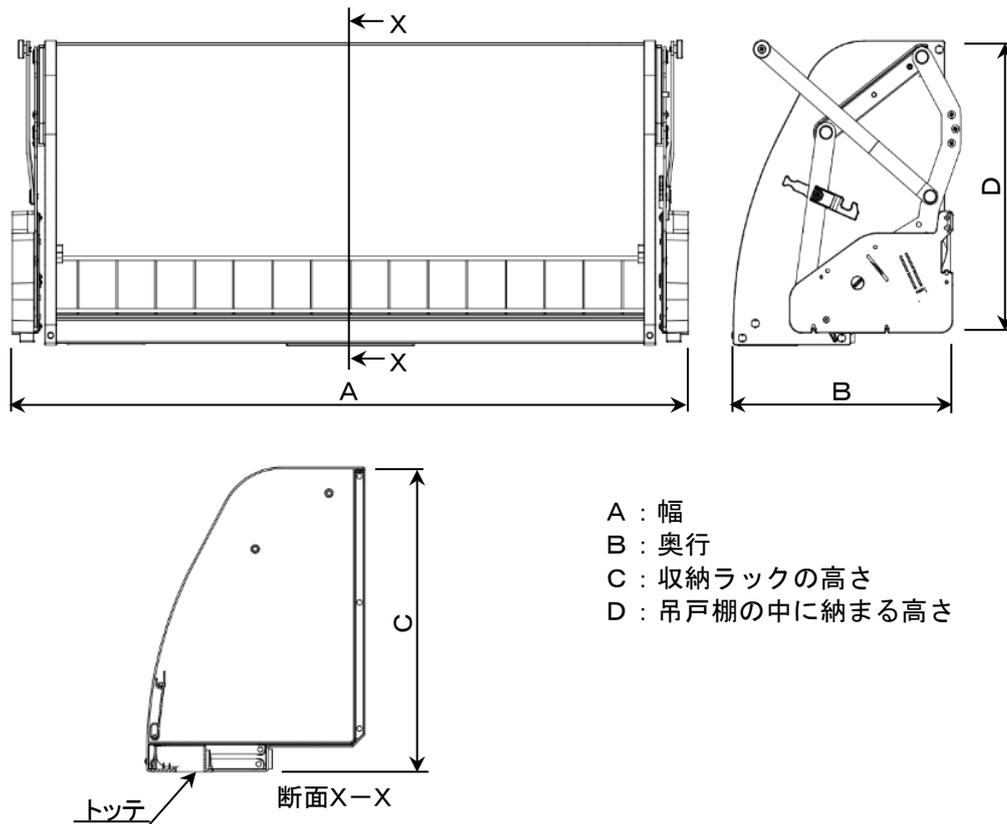


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状
図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法		
	①	②	③
A : 幅	569	719	869
B : 奥行	<304		
C : 収納ラックの高さ	<385		
D : 吊戸柵の中に納まる高さ	<370		

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 関連部材が具備すべき条件

- ・ 本部材を取り付け可能な吊戸棚を図2に示す。
- ・ 各寸法は表2に規定する寸法とする。
- ・ 使用状態の外観を図3に示す。

注記) 扉は上部にヒンジが付くフラップ式とする。

注記) フラッシュ構造のキャビネットおよび扉には取付けできない。

注記) 本部材を取り付けた吊戸棚の下方に設置された化粧キャビネットの上部が見上げ材の先端よりも手前に無いこと。

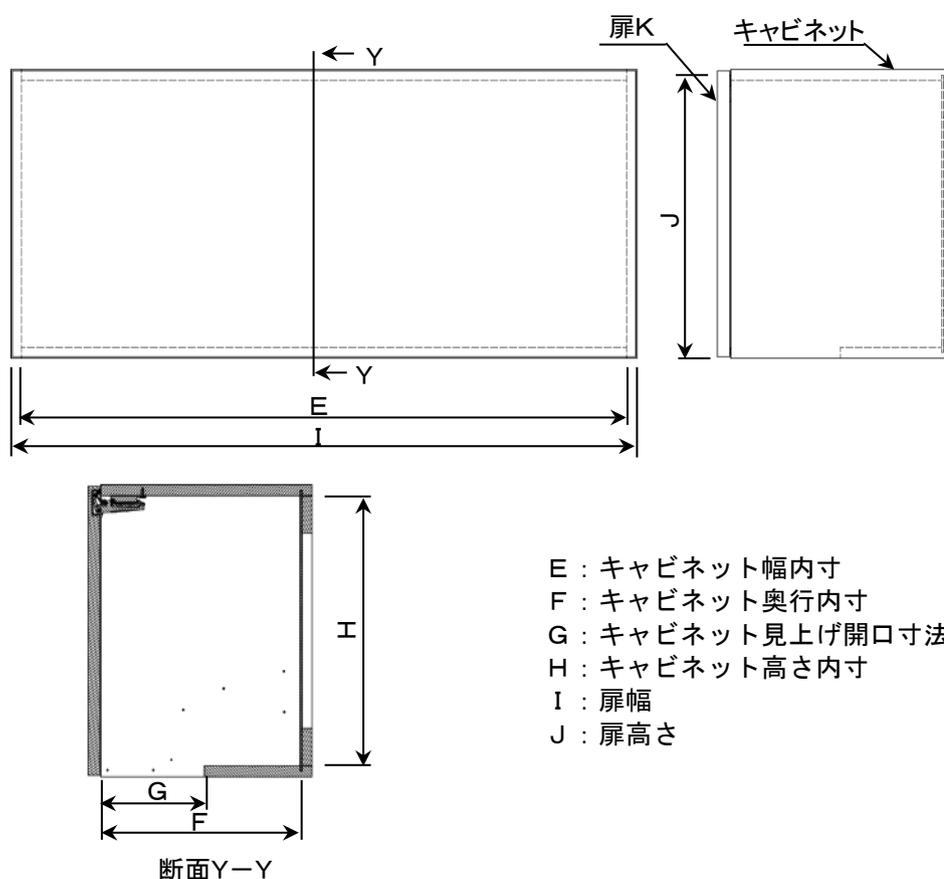


表2 - 吊戸棚各部の寸法

単位 : mm

項目	寸法		
	①	②	③
E : キャビネット幅内寸	569	719	869
F : キャビネット奥行内寸	≧305		
G : キャビネット見上げ開口寸法	157		
H : キャビネット高さ内寸	370		
I : 扉幅	<596	<746	<896
J : 扉高さ	<396		

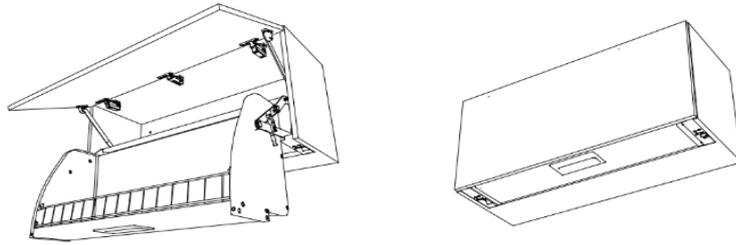


図3－使用状態の外観

6. 解説

- ・ 本部材は洗面化粧ユニットの吊戸棚の中に固定して使用する。
特記事項に記載の吊戸棚が設置されている場合、その中に固定することは可能である。
- ・ 扉連動とは収納ラックが昇降する動きに連動して扉が開閉するものである。従って、収納ラックの取っ手がキャビネットの下面に露出する構造となる。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。